

江幡太瓏先生選評



※参考作品の横に折角解説がある様に最近では「○○句、○○の句」と入りたいですね。今後も句を始め詩、歌、詞、文などを入れるようにしましょう。(太瓏)

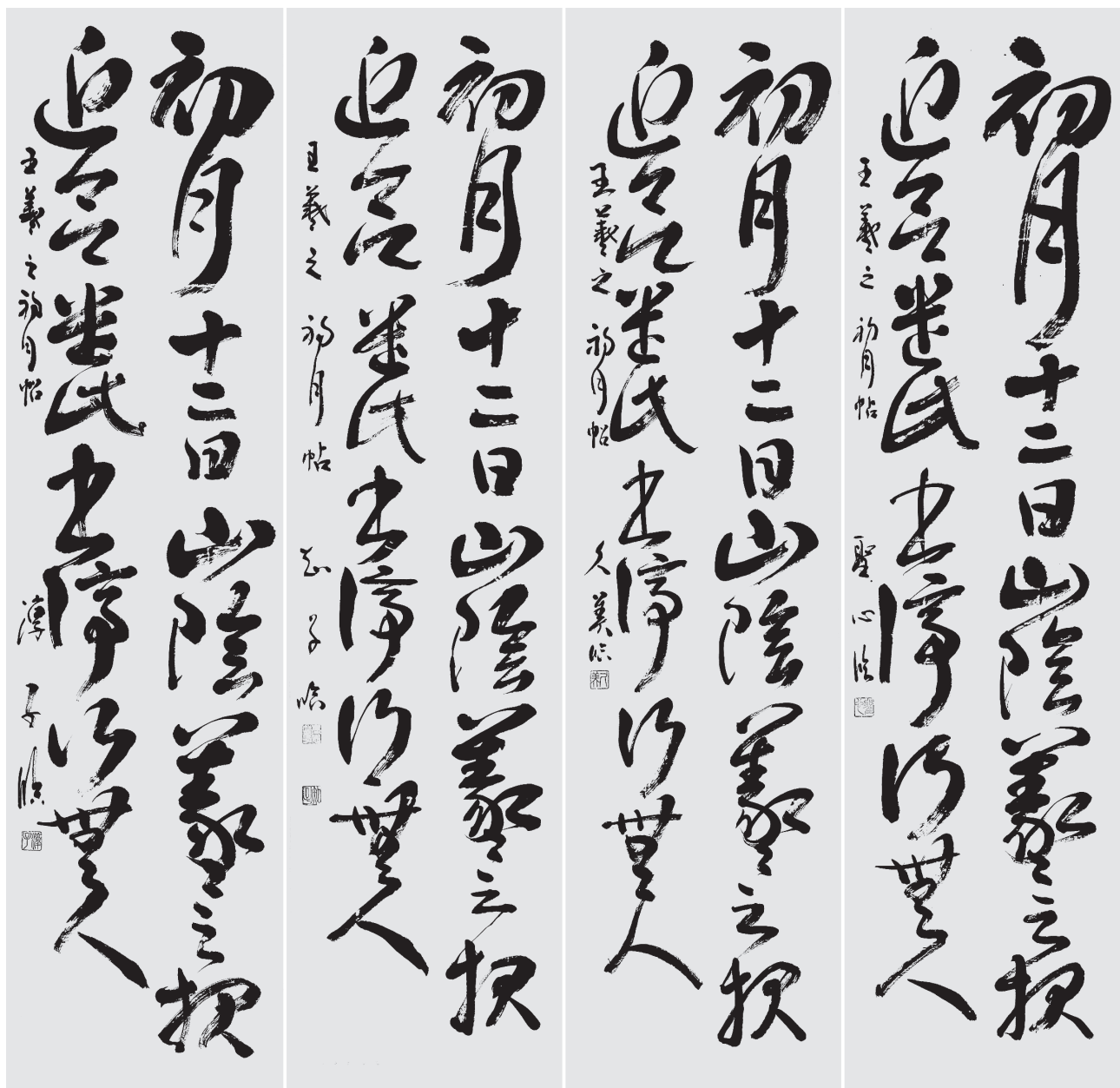
佐藤敏江 推選
拔群のリズムで線が明るく活き活きしています。縦に流れがちな作を横への意識も怠らず大小、潤渇も程良くなりの腕前。今後の活躍大いに期待します。

山崎珠園 推選
貴方も運腕大きく執筆柔らかく楽しみながら書いている様子が窺えます。大小、潤渇も素晴らしいのですが、一つ気になるのは「玉」。小さくていいですがもつと太く。

藤井碧峰 推選
行書を上手く配し懐広くリズム素晴らしく明るい作。上下運動、浮沈が見事で線の太細が心地良いです。落款ですがもう少し字間を空けたかった気もします。

前馬陽代 推選
巧みな筆遣いと表情豊かな字形、横への広がりお見事です。ただ何本か見られるあまりにも細い線は如何でしょう？ 私なら補筆をした所です。

葛西玄涛先生選評



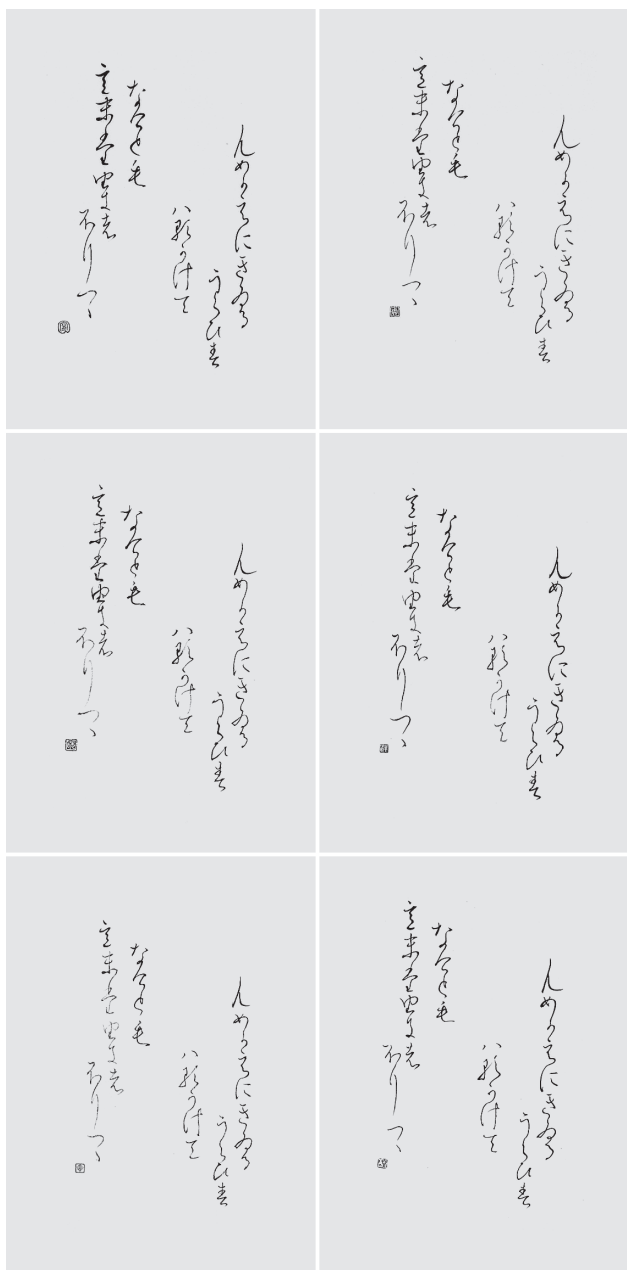
松下聖心 推選
流れる速い線とゆつくりとした厚い線のそれぞれが、とても美しい。線の変化をつけるための運筆速度の変化と文字の大小の変化がありながら、完成度が高い。

生野久美 推選
細やかな動きで、精密に臨書されています。細めの線でありながら大きな腕の動きで筆を操って、強い線を多く生んだ。他に負けない迫力のある作品になった。

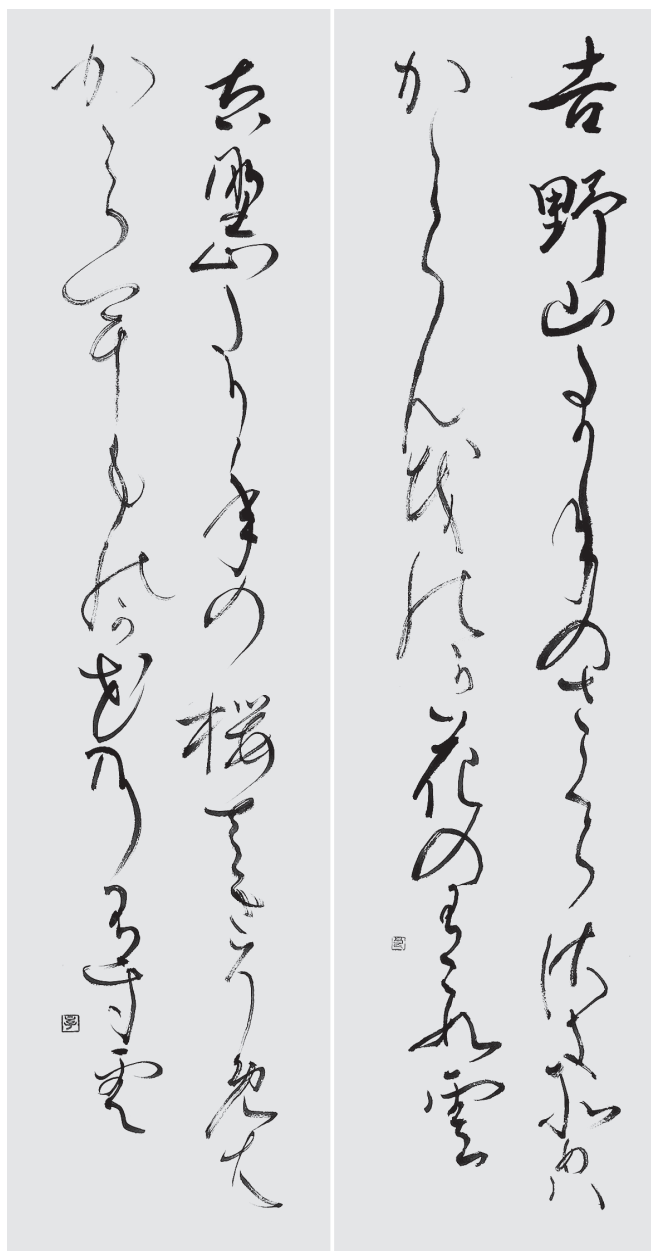
高志知子 推選
澄んだ線が印象深い。紙と筆の触れ方が柔らかいので、多様な線を表現できている。腕の動きの柔らかさが、理想の線を描きだし、素朴な中に艶やかな空気を持った。

宮本淳子 推選
多墨で迫力があるので、重くなりすぎるのだが、切れのいい直線的な動きの線を巧く混ぜて解消した。強弱の変化がバランス良く、魅力に溢れた作品になった。

白幡陽子先生選評



佐賀道子先生選評



伊藤貞子 師範
おおらかな明るい
筆線で古筆の書風
を捉え見事。爽や
かなリズムの運筆
は硬くなりがちな
万葉仮名の連なり
部を流麗に表現し
心に残る快作です。

菊谷寒鷗 準八
濃い目の墨色引き
締めた張りある線
条は、歯切れよく
凛とした佇まいの
気品ある作。「意
：者」の漢字部に
墨が集まり重くな
りました。含墨に
配慮を。

山本晃子 準七
控え目ながら、丁
寧な筆遣いは「元
永本」の現代的な
美しさを捉えて明
るい。リズムにの
った後半の筆の動
きが闊達で、魅力
ある作となりました。

伊藤貞子 師範
おおらかな明るい
筆線で古筆の書風
を捉え見事。爽や
かなリズムの運筆
は硬くなりがちな
万葉仮名の連なり
部を流麗に表現し
心に残る快作です。

山本晃子 準七
控え目ながら、丁
寧な筆遣いは「元
永本」の現代的な
美しさを捉えて明
るい。リズムにの
った後半の筆の動
きが闊達で、魅力
ある作となりました。

古田幸子 四段
素直な運筆のリズ
ムは形態を捉え優
しい。古筆への真
摯な態度が窺える。
墨量不足が惜しい
(筆の下ろし不足
か)。含墨に配慮
し練度を重ねまし
よう。

荒川京子 推選
運腕大きく暢びやかに浮沈
の効いた弾むリズムが魅力
的です。行間の広狭の変化
受け継がれて行く文字の選
択・布置・大小も自然体。
「ほつ」と心和む作に仕上
がりました。

川島良子 推選
紙面にくい込む骨力ある落
ち着いた線。温かい弾力の
線。全体を貫く心地よい流
動感。全てが自然で学びの
深さが感じ取れます。元永
本古今集の気品を込めた倣
書作品になりました。

平田煌零 八段
明るく張りのある
線条、練度高く書
きこなれた流暢な
リズム好感。氣息
の長い連綿線は、
途中墨継なしで一
筆で書きましよう。
より豊かな表情に。



金宗珠美 準五
ぐいぐいとスピードをつけて書き進められた線に清々しさを感じます。運腕大きくのびやかで紙面から飛び出すような生命感溢れる作品です。

江川悦子 師範
穏やかで端正な面持ちの張猛龍です。力むことなく素直に運筆されていて、骨格が強く、払いやはねの細部にも気配りがされて見事な作です。

有明直宏 七段
思い切り良く引かれた動きのある渴筆が魅力です。筆の浮沈や開閉など技術的にも光っています。縦画をもう少し細くすると明るくなったかも。

福原幸子 師範
腕を大きく使えて大らかで堂々とした作品です。字内空間も広く、明るくて誰が見ても好感度抜群です。長い経験と努力が見事に結実しました。

池田博江 準四
羊毛を巧みに操り春風のような温かさで優しさに包まれています。筆先の使い方が上手く、はねや払いは見事、白のきれいな美しい書ですね。

大場洋子 七段
どっしりとした表情で気宇の大きさを感じます。楷書なのにリズムを強く意識され筆の動きが浮かんできます。左払いで筆を立ててみましょう。

中澤百合 六段
線の太細や文字の大小の変化に富み清澄でキラキラした作品です。手首や指に力が入らず筆の弾力を上手く利用して生まれる渴筆が美しいです。

萬代真規子 準師
紙にぐっと沈みこむような落ち着いた線が魅力です。拓本の印象を独自の捉え方でリズムを作り良い臨書です。落款もう少し下でも良かった。

福井優花子 三級
未完ながら大きな可能性を感じます。筆の握りが柔らかく楽しんで書いていく姿が想像できます。この調子で沢山練習し大きな飛躍を期待します。

大屋彩悦 準七
落ち着きのある線と動きのある線が織り交ぜられ不思議な魅力を醸し出しました。強調された起筆も作品に立体感をもたらし効果的であります。

富永晃子 準五
このような迫力満点の書も私は大好きです。今にも紙面から飛び出してくるような生き生きとした線は誰もが書けるわけではないのでこの調子で。

近藤希美 八段
しっかりと丁寧な臨書され、書をよく理解されています。奇を衒わずにゆったりとしたリズムで最後まで書き切れ、見えて安心する作品です。